

4月27日(木) 認知症サポーター研修

● 医事調剤課 平山 園子

認知症サポーターは、認知症を正しく理解し、ご本人や家族をあたたかく見守り応援する人のことを言います。認知症高齢者等に優しい地域づくりに向け、厚生労働省が平成17年より推進しているもので、熊本県は総人口に占めるサポーターの割合が全国1位という素晴らしい実績を持っています。

春日クリニックグループでは、認知症サポート医である理事長や真理子先生を筆頭に、日頃から医療・介護のあらゆる場面で認知症対応を行っています。しかし、今回改めて地域の中の「認知症サポーター」が何たるかを



学びなおし、皆でオレンジリングをつけよう、という職員からの声もあり、認知症サポーター研修を受講しました。

希望者のみ参加という声掛けでしたが、大多数の70名近い職員が参加し、会場は満員御礼。認知症への学びを「深める」研修を受け、参加者全員爽やかな笑顔でオレンジリングをつけることができました。これからも職員一丸となって認知症のサポートに力を入れていきたいと思えます。

5月13日(土) 第82回 おりひめの会

● おりひめの会実行委員会

平成29年5月13日、第82回おりひめの会が開催されました。土曜日開催ということもあり定員を超える38名の方が参加され、会は大盛況。

はじめに寺本栄養士から参加者にお題が出されました。「自分の食事内容を記載する」というもので、その記載をもとに、改めて自分の食事内容を見つめてもらおうと、「自分とうまく付き合う方法」の話がありました。バランスの良い食事の覚え方「まごはやさしいよ」や血液をさらさらにする食事の覚え方「オサカナスキヤネ」など、分かりやすいキーワードを使った話に、熱心にメモをとる方が多くいらっしゃいました。

清田院長と
寺本管理
栄養士



院長からは今回のメインテーマである「女性ホルモンの不思議と更年期の実際」の話がありました。女性にとってホルモンは人生全ての時期に関わっており、さまざまな影響があることなど、具体例を交えた話に参加者も大きく頷いておられました。初めて参加された方も多く「知らないことが多くあった」「更年期の今こそ色々なことを見直したい」「寄り添ってくれる先生に会えて良かった」など沢山の感想を頂きました。

次回は7月5日(水)を予定しております。